

令和4年度 美麻小中学校 I 経営ビジョン

1 目指す人間像 【自律した学習者 ～義務教育学校9年間で育てる姿～】

「自律した学習者」を、本校では生涯にわたって学び続ける基礎力を備えた人と捉えています。新型コロナ関連や社会・経済面で状況が変化していく中で、今まで遭遇したことのない課題に直面した際に、解決するために必要となるのは、常に学び続け自己更新していく力、メタ認知により自己調整をし、方略を見出していく力です。児童生徒・職員が、主体的に探究の学習を進め、学びに向かう力を支える非認知能力と認知能力を培い、児童生徒が逞しく自分の未来を切り拓いていくことを願い、自律した学習者の育成を目指します。

2 教育理念 【個の生き方や考え方を尊重する学校づくり】

本校は「個の生き方や考え方の尊重」を重視します。これは生き方・考え方が尊重されることで一人ひとりの児童生徒・職員が、自分の強み弱みや可能性をメタ認知するとともに、他者の傾向にも意識をし、協働して課題を解決していこうとする気持ちを醸成できると考えるからです。

個の生き方と考え方を尊重するという事は、全てを本人に任せ肯定することではありません。よりよい方向を見つけ、必要な自己更新あるいはさらなる深い思考に導く支援が必要だということです。その支援は、一律である場合もありますが、多くは個に応じること、指導の個別化や学習の個性化を図ることが重要だと考えます。PDSA(Sはスタディー)を回すなかで、その子らしいChoiceや見方・考え方、納得解に寄り添っていくこと、そのためにその子の声を傾聴し共に考えていきます。「共に学ぶ学習者・教師が互恵的に創発する学びづくり」を目指し、教師も自律した学習者として研鑽に努めます。教師相互の協働参画により創発的な授業づくりにChallengeしていきたいと思えます。失敗をChanceとし、出来事の意味をCheckしながら進んでいきます。

また、「個を尊重する学校づくり」は、学校内外の教育資源を活用し、地域や保護者とのパートナーとしての関係づくり、協働により実現していきます。教職員一人ひとりが、教育理念を常に念頭に置き、美麻を愛する児童生徒に寄り添い、育んでいきたいと思えます。

3 目指す学校像 【授業を根幹とする学校】

本校の学校教育目標「心と体をひらいて学ぶ美麻の子」は、児童生徒の目標となる学びの姿勢です。この姿勢を貫くことで児童生徒は学び続け、「自律した学習者」に育っていくと思えます。生涯学び続けるための基礎力を育成していくことが、本校教師の使命であると自覚しています。

また、授業こそが教師の本務であり、本分です。児童生徒にとって授業は、学校生活の大半を占め、事象や自己、友と向き合いながら成長していく最も重要な時間です。つまり、教師の本分としての授業は、児童生徒にとってもかけがえのない時間であり、瞬間なのです。従って児童生徒と教師とで創りあげる授業こそが学校の根幹であると思えます。

「授業を根幹とする」本校は、目指す人間像に向かうために働き方改革の目的である「質の高い授業」を目指し、義務教育学校9年間のカリキュラムを「協働の学び」でつなげていきます。

「協働の学び」は、これからの社会に対応するための、生きて働く知識技能、思考力・判断力・表現力を育てることとなり、生涯学びに向かい、学び続ける力をもつ「自律した学習者」の育成を目指すための本校の大切な軸として据えています。

協働の学びを軸とする質の高い授業により、学力向上はもとより周囲の人々を尊重しながらかわり、体験活動や市民科、夢の時間、キャリア・パスポート、端末の活用等で、将来に向けての夢や希望・自己有用感を高め、自己の可能性を伸ばすとともに、この地域（ふるさと）で培った力を礎にして、美麻を大切に思う気持ちをさらに深めていってくれることを期待します。